

事務事業名	もおか次世代リーダー育成事業（高校生の海外留学支援）			担当	教育委員会 生涯学習課 女性青少年係
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり		増補版施策名	1-5 もおか次世代リーダー養成事業（高校生の海外留学支援）
施策名	3	青少年の健全育成		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
法令根拠	真岡市高校生等海外留学支援事業補助金交付要綱				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成30年度～）
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4 社会教育費		1. 社会教育総務費
事業概要	意欲ある若者の海外留学を高等学校の段階で支援し、将来、多様な分野でリーダーシップを発揮できる、グローバルな人材育成を図る。				

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 30年度実績 真岡市高校生等海外留学支援事業補助金 対象者：市内に住所を有し、学校長の承認を得た9日間以上の海外留学プログラムに参加する高校生等 対象となる留学：平成30年4月1日から平成31年3月31日までに出発する留学（ただし1年度内1人1回とする。） 留学期間：短期コース（9日間以上1か月未満）30,000円×18人、長期コース（1か月以上）60,000円×2人 内容：海外の姉妹都市との交流、語学研修または農業・工業・商業・スポーツ・芸術・科学等の多様な分野で、国際的な視野を広めるなど研究を積むこと。 周知方法：ウイークリーニュースもおかで申請者募集の掲載、県内の高等学校に申込書を送付。 31年度計画 H30年度と同様	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市内在住の高校生等、市内の小中学生児童生徒	ア	補助金額	千円				660	660	
	イ	留学者数	人				6	20	
	ウ	中学生リーダー研修会	回				1	1	
	エ	小中学生との意見交換会	回				0	1	
	オ								
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 将来、多様な分野でリーダーシップを発揮できる、グローバルな人材育成を図る	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア	市内在住高校生数	人				2387	2377	
	イ	市内在中小児童生徒数	人				6784	6761	
	ウ								
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 青少年の健全育成につながる	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア	グローバルな人材の育成数	人				6	20	
	イ								
	ウ								
(2) 総事業費の推移	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア	青少年の地域活動に参加している市民の割合（市民意向調査）	%				5.3	5.3	
	ウ								
	エ								
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
人件費	事業費計(A)	地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	0	0	660	660	
			事業費計(A)	千円	0	0	660	660	
			正規職員従事人数	人	0	0	1	1	
			延べ業務時間	時間	0	0	60	60	
			人件費計(B)	千円	0	0	250	250	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	910	910	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	多様な分野でリーダーシップを発揮できる、グローバルな人材育成を図ることを目的に第11次市勢発展長期計画増補版の施策。平成30年度より実施。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	急速に進化する少子高齢化、経済のグローバル化、情報技術の進展など、多様に激しく進化する変動的な社会環境に即応できる創造性あふれた人材が求められている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある グローバルな人材育成に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高校生の早い段階からの支援が必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市内在住の高校生に限定している。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 海外留学を希望する高校生のための支援として最小限の補助である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 真岡市高校生等海外留学支援事業補助金交付要綱に基づく事業費である
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内在住の高校生等を対象としているので公平である

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							